



The Sounds

ザ・サウンズ、再結成!

- 1960年代初頭に フィンランドでナンバーワンだったギターバンド!
- フィンランドのポピュラーミュージックとして 海外で初めて成功を収める!
- 日本のヒットチャートで「さすらいのギター」が有名に!
- フィンランドのギタリストに必須のインストソング「エマの面影」を作曲!
- そして、今、ザ・サウンズが戻ってきました!



ザ・サウンズ

フィンランド生まれのオリジナルギターミュージック

ザ・サウンズの初レコード「エマの面影」は、1963年に作られ、フィンランドのフォークソングの トウイストバージョンとして発表されてから、51年が経とうとしています。それ以来、フィンランドのギター音楽は、躍進を続けています。

「エマの面影」は、フィンランド全体に瞬く間に広がり、ザ・サウンズや他のギターインストは、十代の若者たちを魅了し、音楽業界に 革命をもたらしました。「エマの面影」はチャートで1位を記録し、6カ月以上もの間、チャートにのり続けました。シングルのB面にある「さすらいのギター」は、日本でも多大な人気を集め、ベストセラーチャートに入りました。このレコードは、フィンランドのポピュラーミュージックとして初めて海外で成功を収めたのです。

1963年、ザ・サウンズは、度重なるプロモーションが実り、レコード会社から日本ツアーに招待されました。しかし、グループのメンバーが、当時、まだ若かったため、彼らの両親は日本に行くにはまだ早すぎると判断し、来日は実現しませんでした。ザ・サウンズは、何度もテレビ出演を果たし、また、彼らの音楽は、ラジオで定期的に流れられました。こうして、このグループは、フィンランドでナンバーワンバンドとしての地位を固めていきました。

同年に行われた次のレコーディングは「さすらい人」と「ロンリー・ギター」です。二曲ともチャートに入りました。グループは、当時人気があった「リッキー・ネルソンショー」のテレビコマーシャルに出演し、「さすらい人」を演奏しました。

1963年、ザ・サウンズは フィンランド全国で演奏し、「エマの面影」は、フィンランドの若者の間で、ヒットソングの中でも特に人気のある曲となりました。今日でも、「エマの面影」は、ラジオで流されており、全国で行われている主要なギターミュージックフェスティバルで、演奏され続けています。ザ・サウンズはメンバーの兵役や学業のため、1965年にツアーを停止しましたが、長いブレイクの後、2011年に復帰しました。

現在のザ・サウンズのメンバー:

エルッキ・ステラ, リードギター
ボビ・ソーデル・ブルム, リズムギター
ペーテル・エクマン, バス
エサ・ヘラスプオ, キーボード
ビッレ・グラノ, ドラム

現在、ザ・サウンズは 1959年に初の「フィンランドのロックンロール王」となったロックジェリー(カイ・ヤルンストロム) とコラボを組んでいます。彼らのインストと真の50-60年代のロックンロールにより、リスナーは、昔に戻って、心ゆくまで踊ることができます。

詳細: www.thesounds.fi

Youtube のリンク:

[エンマの面影エンマの面影 - 1963](#)

[さすらいのギターさすらいのギター - 1963](#)

[さすらい人さすらい人 \(Kulkuri\) - 1963](#)

[ロンリー・ギターロンリー・ギター \(Yksinäinen kitara\) - 1963](#)

[ゴールデン・イヤリング ゴールデン・イヤリング \(Kultaiset Korvarenkaat\) - 1965](#)

サンタクロースも
ザ・サウンズの
ヒットレコードが
大好きです！

